

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視 察 議 員	広報広聴常任委員会（有志） 重信・徳岡・月橋・竹田・片岡
期 間	令和7年5月27日(火)
視 察 先	「北海道鷹栖町議会から学ぼう!! ～どう創る?有効な議会広報・広聴～ 輝け!議会 対話による地方議会活性化フォーラム 勉強会 in 大野城市」
視 察 用 務	広報広聴活動活性化のための視察
視察先対応者	ローカルマニフェスト推進ネットワーク九州 代表 北海道鷹栖町議会 副議長
概要及び所見	鷹栖町議会 2018年から全議員で広報誌を作成 傍聴者による一般質問の評価 通信簿になる 良い質問をした議員にシールを貼る 一般質問から委員会調査へ 12年間選挙がなかったことが、原因で始めたこと 一般質問の勉強会と反省会 高校生と協働でのチラシ作成 小中学生に向けた議会だよりを発行 スポーツイベントなどに議会として参加 議会活動でのAIの活用 どう創る?有効な議会広報・広聴 議会広報誌・・・特定の住民にしか読まれていない ウェブサイトや議会中継・・・ほとんど観られていない 市民は、意見の反映を求めている 議会が仕事をしているイメージがない 議会という機関の存在感は薄い 議会不要論は、住民の中に根強くある 何をしているのか分からない 議会活動の見える化と成果の見える化が必要 議決以上に、論点と争点を発見公開することを重視 議会だよりを読んでいないのは、関心がない、そして、つまらないから 【まとめ】 ・一般質問の評価が、市民モニター制度などで出来るようなシステムを作れば良い ・議会活動の見える化と成果の見える化をとことん行うべき ・広報委員会から各委員会の調査へ繋いでいくことが重要

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名

月橋寿文

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

視 察 議 員	月橋
期 間	令和7年11月26日(水)
視 察 先	第30回清溪セミナー オンデマンド配信
視 察 用 務	議員としての幅広い知識を得るため
視察先対応者	清溪セミナー実行委員会事務局 〇〇〇氏
概要及び所見	講義Ⅰ 「現場から見た介護保険制度」 講師：〇〇〇氏 介護保険制度がスタートして以降、高齢化の進展に伴い介護ニーズが増加する一方で、介護人材不足や地域間格差が深刻化している現状について学んだ。特に、制度だけでは支えきれない現場の課題として、孤立する高齢者や家族介護者への支援の必要性が強調された。 また、地域包括ケアの実現には、行政だけでなく地域住民や民間事業者、ボランティア等との連携が重要であることを再認識した。 【感想】 介護は行政サービスだけで完結するものではなく、地域全体で支え合う仕組みづくりが必要であると感じた。今後の地域づくりにおいても、住民同士のつながりや支え合いを意識した施策が重要である。 講義Ⅱ 「社会の変化とこれからの学校教育～主体性と当事者性～」 講師：〇〇〇氏 変化の激しい時代において、従来型の知識偏重教育ではなく、自ら考え行動できる「主体性」と、自分事として課題を捉える「当事者性」を育む教育の重要性について学んだ。 学校教育だけでなく、地域社会全体で子どもの成長を支える視点が必要であり、失敗を許容し挑戦できる環境づくりの大切さが示された。 【感想】 人口減少や地域課題が進む中、地域を担う人材育成は非常に重要である

と感じた。子どもたちが地域に愛着を持ち、自ら地域課題に関わる機会を増やす必要性を強く感じた。

講義Ⅱ

「社会の変化とこれからの学校教育～主体性と当事者性～」

講師：〇〇〇 氏

変化の激しい時代において、従来型の知識偏重教育ではなく、自ら考え行動できる「主体性」と、自分事として課題を捉える「当事者性」を育む教育の重要性について学んだ。

学校教育だけでなく、地域社会全体で子どもの成長を支える視点が必要であり、失敗を許容し挑戦できる環境づくりの大切さが示された。

【感想】

人口減少や地域課題が進む中、地域を担う人材育成は非常に重要であると感じた。子どもたちが地域に愛着を持ち、自ら地域課題に関わる機会を増やす必要性を強く感じた。

講義Ⅲ

「子育て支援策の一步先へ～まち全体での子育て～」

講師：〇〇〇 氏

少子化が進行する中で、行政による経済支援だけではなく、「地域全体で子どもを育てる」という考え方の重要性について学んだ。

子育て世帯の孤立防止や、多世代交流、地域コミュニティの再構築など、人と人とのつながりが安心して子育てできる環境づくりにつながることを紹介された。

【感想】

子育て支援は単なる福祉施策ではなく、地域の未来への投資であると感じた。地域行事や地域活動を通じて、子どもと地域住民が自然につながる環境づくりが重要である。

講義Ⅳ

「人口減少社会を生き抜くために」

講師：〇〇〇 氏

急速な人口減少と少子高齢化が進む中、地方自治体には従来の延長線ではない新たな発想と戦略が求められていることを学んだ。

地域資源を活かした産業振興や移住定住対策、女性や若者が暮らしやすい地域づくりの必要性が示された。

【感想】

人口減少は避けられない課題であるが、悲観するだけでなく、地域の強みを活かした魅力づくりが重要であると感じた。地域経済や地域コミュニティの維持に向け、長期的視点を持った政策が必要である。

講義Ⅴ

「自治体の防災マネジメントと議会・議員の役割」

講師：〇〇氏

近年頻発する自然災害を踏まえ、自治体には平時からの危機管理体制強化が求められていることを学んだ。

また、議会や議員には、行政監視だけでなく、地域住民への情報共有や地域防災力向上への役割が期待されていることが示された。

【感想】

災害発生時だけでなく、平時から地域住民との信頼関係を築くことが重要であると感じた。特に中山間地域では、高齢者支援や避難体制づくりなど、地域特性に応じた防災対策が必要である。

講義Ⅵ

「被爆戦後 80 年 核兵器のない世界へ 日本が果たす役割とは」

講師：〇〇氏

〇〇氏

被爆の実相を次世代へ継承し、核兵器廃絶に向けた国際的な取り組みの重要性について学んだ。

戦争体験者が減少する中で、平和教育や被爆体験の継承がますます重要になっていること、また地方自治体においても平和発信の役割が求められていることが示された。

【感想】

広島県内の自治体議員として、平和の大切さを次世代へ伝えていく責任を改めて感じた。核兵器のない世界の実現に向け、地域から平和意識を高める取り組みが必要である。

全体総括

今回の清溪セミナーでは、介護、教育、子育て、防災、人口減少、平和問題など、現在の地方自治体が直面する重要課題について幅広く学ぶことができた。

いずれの講義にも共通していたのは、「行政だけでは地域課題は解決できず、地域全体で支え合う視点が必要である」という点である。

人口減少や高齢化が進む中、地域コミュニティの維持、人材育成、防災体制の強化など、地域の実情に応じた取り組みが求められている。今回の研修で得た知見を、今後の議員活動や地域活動に活かし、市民の安心・安全と地域活性化につながるよう努めていきたい。